

科目分類	いのち・人間の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
71008	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	社会学 (Sociology)				
担当教員名	鳥越 信吾				
授業の概要及び到達目標					
社会学の基礎的な知識を習得し、自身が暮らす社会について客観的に分析する力を養うことを目的とする。現代日本社会における日常生活に密接に関わるテーマを中心に、社会学的な議論、視角について講義する。					
準備学習等					
各テーマに関連する文献を自分で探し、目を通しておくこと。					
成績評価の方法	期末レポート70%、コメントペーパー30%で総合的に評価する。なお、欠席が4回に達した場合、一律不合格とする。				
テキスト	特定のものを使用しない。				
参考図書	授業中に随時紹介する。				
備考	質問等は、授業中及びEメールで受けつける。毎回授業の最後に、感想、考えたこと、要望などをコメントペーパーに書いてもらうが、その中に質問を記してもよい。 授業中、随時発言やディスカッションを求める。ゆえに、積極的に学習する姿勢をもって受講されることが望まれる。 なお、下記授業計画は受講者の希望に合わせて若干変更する可能性がある。				
授業計画					
第1回 ガイダンス (授業の目的、授業の進め方、文献の探し方、レポートの書き方、成績評価の方法など)					
第2回 科学と日常 (科学とはどのような営みなのか?)					
第3回 社会学の方法 (どのような方法で「社会学」をするのか?)					
第4回 近代化 (われわれが住む社会はどのような特徴をもつのか)					
第5回 近代化と社会問題 (「自殺」を社会学的に分析する)					
第6回 個人と集団 (集団が大きくなるとどのような影響があるのか)					

- 第7回 時間と貨幣の特徴とは
- 第8回 大衆社会論（「みんな同じ」時代の特徴）
- 第9回 消費社会論（消費と自己の関係）
- 第10回 感情労働のしくみ
- 第11回 日本の家族の特徴
- 第12回 日本型雇用慣行とは
- 第13回 長時間労働の社会学的分析
- 第14回 日本の貧困問題
- 第15回 まとめ